

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
1	<p>新庁舎建設の基本構想に、是非、文化ホールの計画を入れていただきたくお願いいたします。</p> <p>当別町は、毎年秋の文化祭のほか、各種音楽イベント・踊りや講演会など、町民が中心になって開催する文化的行事が大変盛んな町であります。しかし、現在当別町が所有している施設は、これらの活動を支えていくには余りにも不十分と言わざるを得ません。折角の催しが「音響効果に全く欠けた会場」のせいで、台無しになるのは本当に勿体ないと思います。町民意識の活性化や地域の特色づくりのためにも、良質な音楽を楽しめる小ホール（200人収容程度）の実現を心からお願いいたします。</p>	<p>・文化ホールの必要性について、文化活動の拠点として、150席から300席程度の小規模ホールを整備することで、音楽や演劇、講演会など多様なイベントに対応でき、地域住民の文化活動の促進や町の魅力発信につながると考えています。また、新庁舎との一部機能共有により、費用を効率的に抑えつつ現実的な整備が可能になるのではないかと考えています。</p> <p>・文化ホールの併設については、町民の文化活動を支援する上で重要な課題であり、前向きに検討する必要があると考えています。ただし、事業費が大きな課題であることから、新庁舎建設の全体事業費を十分に踏まえ、慎重に検討を進めていきます。</p> <p>・基本構想（案）に追記します。</p>
2	<p>基本構想（案）39. 40. 41ページ 文化ホール建設について町民の皆様が切望されていた案件です。是非ともこの機会に実現されることを強く望みます。積立金も無駄にすることなく、次世代の爲にも有効に投資するべきと考えます。</p> <p>基本構想（案）63ページ 毎年開催される町民文化祭は、会場設営には2日間ほどかかり、設営に当る各団体のお手伝いの方々も高齢の方が多く、最近では後片付けを含め、人材センターの方にもお手伝いをお願いしているところ。町民の爲の文化祭が益々衰退していくような状況になってきております。やはり、一つの会場で展示部門と舞台発表ができるような場所と備品があれば若い方々を含めた全町的な文化祭が開催できるように考えます。同一建物にあることで運営や参加がスムーズにでき、文化祭の全体感が増すでしょう。更に、文化祭だけではなく、地域の生涯学習の場所として、様々な文化的イベントの場所として使用されることは、地域の文化交流活動の拠点となり、若い人たちからお年寄りまでの文化意識や文化基盤の向上にも繋がることと考えます。そして、文化芸術に多くの人達が触れ、参加できる環境作りが図られることにより持続可能な地域社会が実現されていくことでしょう。そのためにも是非文化ホールが建設されるようお願いいたします。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
3	<p>基本構想（案）18ページ 「3-3. 複合化すべき施設・機能 当別町新庁舎建設検討委員会から提出された提言書では、町の未来を考えた賑わいの創出という観点から、文化ホールとテナント等の導入について提言があったことから、それらを導入して建設を進めていくこととする。」 となっている事から。 1. 先日開催された「プレミアムコンサート」ような素晴らしい演奏が聴けるホールに。 2. 札幌のコンサートホールが少ない事から、著名なアーティストが来て公演をするようなホールに。 3. このため人気が高く評判の良い「ふきのとうホール（収容人数 221名）」に匹敵するホールにしたい。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
4	<p>新庁舎を建てるにあたり、ぜひ文化ホールを併設して頂きたいと思います。 文化祭では、雨音が響く中で合唱をしましたが、後方の席の方によく聞こえなかったと言われました。小さくても(200名前後)音響の良いホールで歌えたら、と思います。講演会や、演劇、演奏会にも使えるのではないのでしょうか？ よろしくお願い致します！</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
5	<p>基本構想（案）39.40.41ページ 文化ホール建設についてぜひともこの機会に実現することを強く希望いたします。</p> <p>基本構想（案）63ページ 毎年の文化祭設営時、体力、人数を必要とし、一か所で開催になれば見る方々もお越しいただきやすくなると思います。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
6	<p>・自販機ではなくコーヒー、クッキーなど買える売店orカフェが欲しい ・土日構わずフリーで子どもが寄れる、遊べる場所が欲しい 富良野市役所、東川町共生プラザそらいろ、のような</p>	<p>・貴重なご意見として承ります。</p>
7	<p>【複合化機能(文化ホールやテナント)】について</p> <p>当別町では以前(おそらく平成の頃)から演奏会ができるホールの建設が望まれていました。文化祭は隔年で本町と西当別で行われていますが、当別の本町開催の時は白樺コミセンで演奏が行われ、音響は酷い状況です。</p> <p>当別町では合唱団が二団体あり、中学校では吹奏楽も盛んで、文化祭では様々な音楽の発表がなされますが、雨降りの白樺コミセンでの発表はとても残念なものになってしまいます。</p> <p>合唱団に所属している者の一人として、文化ホールの建設を切に望みます。</p> <p>ホールを用意するということは、その他控え室やリハーサル室なども用意する必要があり、建設費用もかかることかと思いますが、当別町の文化的な発展のため、何卒お考えいただきたくお願い致します。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
8	<p>基本構想（案）3ページ 現庁舎に不足している機能の構築</p> <p>文化ホールの併設を希望します。</p> <p>当別混声合唱団として、毎年文化祭に参加させて頂いておりますが、特に白樺コミセンが会場の年は天気が気になります。今年は特に激しい雨音で演奏が聞こえないという状況でした。是非ともこの機会に雨音を気にせず演奏でき、また聴くことができるホールを作って頂きたいと思っております。</p> <p>また、当別町にゆかりのある素晴らしい演奏家の方もたくさんいらっしゃいます。そういった素晴らしい演奏も、学校の体育館ではなく、反響板のついたホールで味わうことができたらいいなと思います。</p> <p>小さなホールでもいいので、是非とも音楽アドバイザーの意見を聴きながら作って頂けたらと思います。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
9	<p>12月17日（水）新庁舎建設の検討に係る住民説明会に参加しました。その中で私が一番深く関心を持ったところは、複合化機能（文化ホールやテナント）を持たせるというところでした。</p> <p>私は当別町の混声合唱団に所属し、初夏はコーラスフェスティバル（札幌開催）、秋は当別町文化祭に参加発表させて頂いております。2年前と今年の文化祭は雨天で、体育館は雨音が大きく響き、歌声と雨音が一緒となり、練習してきたハーモニーや生声の響きがきちんと伝えられず、とても残念に思っていました。</p> <p>今回この説明会で、複合化機能ということですが、文化ホール（私は音楽ホール＝中ホールくらいの大きさと考えています）が計画されていることを知り、更衣室とリハーサル室を含む文化ホールの設置を要望いたします。ぜひよろしくお願いたします。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
10	<p>私は、当別町に居住する一住民として、現在進められている新庁舎建設計画について、強い懸念を抱いており、以下のとおり意見を申し述べます。</p> <p>1. 人口減少・高齢化が進む中での大型投資への懸念                  当別町は年々人口が減少し、高齢化が進行している自治体です。                  さらに、医療大学の移転により、今後の人口増加や税収増が見込みにくい状況にあります。                  このような状況下で、多額の借入れを伴う新庁舎建設は、将来世代に過大な負担を残す可能性が高いと考えます。                  限られた財源は、福祉・医療・生活インフラの維持など、町民の生活に直結する分野に優先的に配分されるべきではないでしょうか。</p> <p>2. 行政機能のダウンサイジングの必要性                  現在、行政手続きは急速にデジタル化・オンライン化が進み、ペーパーレス化や窓口利用の減少は、今後さらに進行すると考えられます。                  こうした社会変化を踏まえれば、従来型の大規模庁舎を前提とした計画そのものを再考すべき時期に来ているのではないのでしょうか。                  行政組織もまた、町の規模に見合った「身の丈に合う形」へと転換することが求められていると考えます。</p> <p>3. 新築以外の選択肢の検討について                  老朽化が進む現庁舎への対応として、必ずしも「新築」が唯一の解決策ではありません。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存庁舎の最小限の改修による延命</li> <li>・医療大学跡地などを活用した移転・再利用</li> <li>・民間建物を活用した賃借型庁舎</li> <li>・行政機能を分散させたコンパクト化</li> </ul> <p>など、初期投資や将来負担を抑えた柔軟な選択肢も十分に検討されるべきと考えます。</p> <p>4. 全国に先駆けた持続可能な自治体モデルを                  人口減少社会において、これまでと同じ発想で公共施設を整備し続けることには限界があります。                  当別町が全国に先駆けて、小規模自治体としての持続可能な行政運営モデルを示すことは、将来に向けて大きな意義があると考えます。</p> <p>その第一歩として、新庁舎建設計画については、町民を交えた十分な議論と、あらゆる選択肢の再検討を強く求めます。</p>	<p>・現庁舎は老朽化が進んでおり、維持管理にかかる費用や災害時の安全性に対する懸念があります。これらに対応せず放置することで、町民の生活や行政機能に重大な影響を与える可能性があります。</p> <p>・新庁舎建設に伴う費用負担については、徹底した精査のもと、町の財政に過大な負担をかけないように計画してまいります。また、将来世代への負担軽減を目指し、効率的な返済計画を検討してまいります。</p> <p>・新庁舎の規模については、現在の庁舎に不足している災害対応機能やバリアフリー設備、効率的な窓口配置など、町の規模や行政運営に必要な機能を最小限かつ効率的に整えるために検討してきた内容です。</p> <p>・デジタル業務の推進は、オンラインでの手続きや情報提供を充実させることで、町民の皆様が利便性の高いサービスを受けられる環境整備を目指していますが、そのような環境整備に一定の時間を要します。また、すべての業務がデジタル化によって対応可能になるわけではないため、来庁による手続きや対面での相談業務は、引き続き、重要な役割を担います。将来的にはデジタル業務の充実と庁舎運営のバランスを取りながら、住民サービスの質をさらに向上させてまいります。</p> <p>・令和6年度に現庁舎の耐震化調査を実施した結果、改修工事費が約38億円と多額になるうえ、その後の耐用年数も短いことから、改修ではなく建て替えという結論に至っています。</p> <p>・医療大学の移転後、役場庁舎として跡地を活用することについては、災害時の対応を踏まえると市街地から離れているというデメリットがあるため、検討対象から外れています。</p> <p>・分散化による新庁舎の規模縮小について検討しましたが、NTT当別ビルや旧当別小学校などの既存施設が著しく老朽化しており、改修費がかかるほか、改修したとしても耐用年数が短いことから事業費を抑えるメリットが得られないと判断し、分散化は行わないという結論に至っています。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
11	<p>基本構想（案）10ページ 新庁舎に必要な諸条件の「町民交流機能の向上」を図るため、新庁舎にコンサートホールの併設を強く希望いたします。</p> <p>理由は以下の2点です。 ・イベントの準備や撤収の効率化 ・ホールならではの体験による文化への関心の醸成</p> <p>まず、1点目の理由を支持する意見についてですが、文化祭や先日のプレミアムコンサートでは会場の設営と撤収に多大な労力と時間を要していたので、照明や音響設備、椅子などを備えたホールがあることで運営の負担が軽減されると考えております。特に文化祭では文化協会の役員の高齢化が懸念されているので、今後も文化を継承するためには運営の容易さが肝要だと考えております。</p> <p>次に2点目ですが、コンサートホールが持つ非日常の感覚を体験することで、文化や芸術への興味・関心が深まると考えております。 従来はコミュニティセンターやとうべつ学園の体育館を会場としていましたが、ホールの音響による深みのある音楽や歌、ホールの舞台や照明による生き生きとした踊りや劇を届けることで、また観たい・聴きたいと思ってもらえる一助になると考えております。</p> <p>以上の理由から私は新庁舎にコンサートホールの併設を切望します。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
12	<p>・建築資材や人件費の高騰が続いており、費用を抑えるためにも、著名な建築家に設計を依頼するなどはやめてもらい、費用を抑えてほしい。庁舎はあくまでも町民のものであり、町民がそういったデザインを求めるとは限らない。外観はシンプルでいい。</p> <p>・トイレや空調はしっかり整備してほしい。子供を連れてトイレを利用したが、とても古く清潔感が全くなかった。少なくとも、授乳室やおむつ替えスペースを多く確保してほしい。庁舎で働く職員さんも少しでも気持ちよく働けると、対応も気持ちよくできるし、それが町民サービスにつながる。</p> <p>・災害時には対策本部ができると思うが、DX化を導入して、迅速な被害確認や、国や道への報告ができる体制を整えてほしい。</p>	<p>・新庁舎建設にあたっては、メンテナンスや長寿命化の観点を重視し、設計業務を含め、可能な限り建設コストを抑えた建物となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>・新庁舎の計画では、町民の皆様が快適に利用できる環境づくりを最優先に考え、トイレや空調の整備はもちろん、授乳室やおむつ替えスペースを設ける方針です。また、職員が快適に働ける環境を整えることで、より良いサービス提供につなげていきたいと考えています。</p> <p>・災害時の迅速な対応は町民の安全を守るうえで非常に重要であり、DX（デジタルトランスフォーメーション）による体制強化は必要不可欠と認識しています。新庁舎計画では、災害対策本部を設置するための会議室を確保するほか、情報収集・共有を迅速化するためデジタル技術の活用を検討しています。</p>
13	<p>当別町庁舎建設にあたり文化ホールの建設もお願いいたします。 文化祭展示に必要なので。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
14	<p>新庁舎建設については現状庁舎の老朽化や耐震不足等を見ますと建設に賛成です。当別町新庁舎建設基本構想（案）の新庁舎の建設事業費の検討について意見させていただきます。</p> <p>昨今の国内におけるあらゆる建設コストは急上昇し、公共事業では特に顕著です。この様な状況の中で主に道内市町における工事費単価を参考に概算建設費を試算されていますが、例えば日銀の金利上昇や、建設資材費及び人件費の急上昇など、ここ数年だけでも費用が急上昇しているようです。今後、更に検討を進め基本構想を確定すると思しますので、コスト面での検討を更に厳格に進め、長期的に町民や町財政への重い負担とならないように事業を進めていただけたらと思います。</p>	<p>・昨今の建設コストの上昇については、大きな課題として認識しており、慎重に検討を進めています。現在、道内市町村や他地域の新庁舎建設にかかる工事単価を参考に概算費用を試算しつつ、今後の経済状況や資材費、人件費の変動も考慮しながら柔軟な対応が必要だと考えています。今後もコスト面での検討をさらに行い、町民の皆様や町財政に過度な負担がかからないよう配慮してまいります。</p>
15	<p>新役場につきましたの、希望です。 私は、レデースハーモニーに所属しています。町民の為の、文化ホール(多目的ホール)をお願いします！</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
16	<p>当別町には札幌市に隣接しているメリットを生かして、もう一段活性化させる余地があると考えます。その一つが文化ホールです。これがあれば、札幌市に公演に来る国内外の一流アーティスト（例：PMF音楽祭）を翌日、当該文化ホールに招いて演奏していただくようなことが地の利からして他の市町村よりはるかに優位に進められると思われま。</p> <p>華美で大規模なホールではなく、固定席200～250席くらいの簡素ながら音響機能がしっかりとした小規模ホールのイメージです。</p> <p>当別の近隣町村の方々も含め、札幌まで出かけにくい子供たち、お年寄りに質の高い芸術に触れていただけます。</p> <p>一方、様々な舞台芸能で活動中の町民の方や町民グループが多数いらっしゃいます。それらの方々の「晴れの舞台」としても貴重な場になります。</p> <p>当別町文化祭の舞台部門は両コミセンで活発に行われておりますが、固定席のホールではないので設営準備が大変です。</p> <p>私自身、複数のグループやバンドに所属していますが、札幌で中小規模のホールを予約するのは簡単ではありません。半年待ちのようなホールもあります。</p> <p>ということは小規模でも魅力あるホールを作れば、町外からの利用申し込み（有料）も期待できるということかと思えます。</p> <p>文化ホールは、大学の転出という荒波の中で、「人口減少の歯止め」「文化の薫る暮らしとなる町づくり」の一助となると信じます。</p> <p>文化ホールとともに「テナント」の記述があります。賑わいを取り戻すためにも、本構想に含めて検討することには賛成です。当別商工会やロイズをはじめ地元企業のバックアップも期待したいと思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見者1の回答のとおりです。</li> <li>・テナントについては、賑わいを創出する観点から商業店舗の導入を検討しています。なお、具体的な内容については現在のところ未定であり、今後も慎重に検討を進めてまいります。</li> </ul>
17	<p>基本構想（案）39 40 41 63ページ</p> <p>文化ホール建設については、町民の方々の願いです。この機会に実現する事を強く望みます。積立金を無駄にする事なく次世代の為に投資すべきと考えます。</p> <p>毎年の文化祭の会場準備に二日間程かかり、各団体のお手伝いの方々も、年々減少傾向です。現在はシルバー人材センターにも、お願いしている現状です。</p> <p>町民の為に、文化祭が衰退する事が無いように、若い世代にも関心をもって、参加しやすい施設が必要です。理想は一会場で展示と舞台発表が出来、必要な備品が装備されている事が必要です。</p> <p>上記のように同一会場で、文化祭が開催できることで、参加者、来場者の行き来がスムーズになり、文化祭の全体感が増します。施設は文化祭だけでなく</p> <p>地域の生涯学習やサークル活動発表 ピアノ発表 アーティストのコンサート等、交流活動の拠点となり、町民全体の文化的基盤となり、若い方から高齢者にまで、誰もが等しく文化芸術に触れ、参加できる環境づくりが、持続可能な地域社会の実現に向けて大変に重要に思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見者1の回答のとおりです。</li> </ul>
18	<p>町民の多くが切望している案件です。この機会に実現することを望みます。積立金も無駄にならずいいと思います。</p> <p>文化祭会場設営のお手伝いをしましたが、各団体の協力者も高齢の方が多く、大変になってきています。会場が二か所にわかれているのも原因だと思います。活気があり、若い方も参加していただくためにも参加しやすい施設が必要だと思います。1つの会場で展示、発表ができることで来場者の流れもスムーズに年齢問わず参加できると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見者1の回答のとおりです。</li> </ul>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
19	<p>基本構想（案）18～22ページ</p> <p>複合化機能、庁舎配置の関連意見</p> <p>文化ホールとありますが、これに図書館が該当するのであればいいのですが、そうでないなら大人向けの図書館スペースを庁舎内に確保又は文化ホールと図書館スペースを兼用した内容にして頂きたい。</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この度の基本構想7ページ、「当別町立地適正化計画」令和元年の中で文化センター、図書館について、役場庁舎との複合化を検討とあります。</li> <li>・フロア構成イメージ案では、文化ホール部分が用途、及びどの程度の大きさになるか分かりませんが、中途半端な感じを受けます。</li> <li>・図書館は、町内に2か所ありますが、お世辞にも良いとは言えません。私は定年後、他の町村の図書館を利用する機会が多いのですが、当別町規模の自治体で図書館を快適に利用できる現実を見て当別町の現状に残念な思いです。快適と感じた近隣町村の例として、長沼町図書館、中富良野町図書館、栗山町図書館、新十津川図書館など。庁舎に組み込んでいるのは、市ですが、滝川市があります。滝川市は庁舎の2階に図書館があり、入口付近にコーヒーも飲める休憩兼町の情報スペースがあり、来訪者には有難い配慮です。最上階には、食堂があり市内を展望しながら食事できるのもいいなと思います。</li> <li>・世代を問わない蔵書の図書館設置が理想ですが、予算や庁舎規模の兼ね合いもあるので、私が希望するのは、高校生以上の大人をメインにした図書スペースです。小中学生は既に学校図書館や既存の2か所があり、内容もどちらかと言うと子供向けの図書が多いと感じています。</li> </ul> <p>少子高齢化の時代にあって定年後も元気な世代が気軽に立ち寄り、趣味の分野の月間雑誌、官公庁の広報、経済金融関係の雑誌等で情報を得るのはネットとは違う楽しみがあります。シルバー世代の全てがパソコン、スマホでの情報取得が得意な訳ではなく苦手な人の方が多いのではと思います。内容は、専門書ではなく入門書、啓発書程度です。大人向けの雑誌類は、町内既存の図書館には、殆んどありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロア構成で4階の議会関連スペースは、利用者が主に議会関係者（その内、町議は15名）に限られ、また常時使われる訳ではないのに、このフロアを全てそれに充てるのは、町民の共有財産でもある庁舎の有効利用の観点から疑問に思います。エレベーターも設置されるので町民交流スペースにも充てるべきだと思います。</li> <li>・1階のテナントスペースは、どんな分野の施設が入るのか不明ですが、予め町民利便に資するテナントの明示が必要と思います。</li> <li>・町民交流利便設備として、セブンイレブンにあるようなセルフによる業務用コーヒー販売機(有料)の設置を希望します。</li> <li>・最後に、昨今過疎化、少子高齢化社会に向けて市町村のコンパクトシティ化が提唱されています。シニアが移住したい田舎町全国1位に道内の沼田町があります。町の行政施設を半径1km以内に集中化させており、とても便利との評価です。当別町もこの度の庁舎移転新築に当たり、町の行政機能はなるべく、点在から集中化させるべきです。本来であれば現庁舎跡地を中心に、「ゆとろ」、「体育館」と町関連施設が近いのが理想です。それが事情によりJR線の反対側へ移転するのであれば、新庁舎へは、「ゆとろ」の事務部門等移動可能な係は、統合させるべきだと思います。と言うのも介護保険関係の手続きにおいて、国保関係手続きは役場庁舎で行い、そこから移動して「ゆとろ」でするのは非常に面倒です。特に冬季は道路除雪が間に合わない狭い道路を車で往來するのは、事故のもとです。本来であれば、一つの庁舎内で完結させるのが住民サービスと言うものです。</li> </ul> <p>又、他の町施設の事務系で新庁舎へ統合できるところがあれば、この際、配置を見直すべきかと思いません。</p> <p>役場庁舎との複合化に関連して、この点の統廃合を進めると共に、「ゆとろ」の空いたスペースは図書館の複合化リニューアル移転させてはどうかと思います。現図書館は駐車スペースが狭く、「ゆとろ」の駐車場は広くて安心です。検討ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化機能の整備については、庁舎建設にかかる総事業費や維持管理費など、財政とのバランスを慎重に考慮しながら内容を検討しています。そのため、図書館に関することを含め、すべての要望を取り入れることは難しいですが、いただいたご意見については重要な参考意見として、今後のまちづくりの検討にあたって活用させていただきます。</li> <li>・貴重なご意見として承ります。</li> <li>・テナントについては、意見者16の回答のとおりです。</li> <li>・貴重なご意見として承ります。</li> <li>・新庁舎建設にあたっては、町民の皆様の利便性向上を目的に窓口業務の集約について検討してまいります。</li> <li>・貴重なご意見として承ります。</li> </ul>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
20	<p>基本構想（案）25ページ 地点の評価について 建設予定地の土地について、前回のパブリックコメント (<a href="https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/20078.pdf">https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/20078.pdf</a>)では総合評価方式として、各候補地に点数をつけて評価しており、4地点のいずれかから選出されるものと考えていた。今回はそう言った議論がされずに⑤の候補地が追加されており、⑤の用地に新庁舎を建設するという結論ありきで進んでいるように感じる。今回も前回同様に地点ごとに評価点を計算してはどうか。</p> <p>基本構想（案）10ページ アクセス性について 前回のパブコメ時点では、アクセスの評価性は徒歩1～3分の地点にて○もしくは◎、5分程度の地点にて△の評価となっていた。⑤の地点はグーグルマップによると駅から8分程度の距離となっており、アクセス性が著しく悪い。特に、当別町職員であっても、JRを利用している人が多くいると認識している。降雪量が多い当別町において、駅から庁舎までのアクセスが悪いことは、本州の他市町村に比べても著しいデメリットとなりワークライフバランスの悪化にもつながりかねない。 また、こうした来庁者、出勤者は、北海道医療大学移転後のJRの当別発車本数維持に寄与すると考えられる。JRで札幌まで容易にアクセスでき、当別町が札幌圏であるというのは、子育てなどを見据えるうえで重要な魅力。現在JR通勤されている方が本数減少のため車通勤へ切り替える懸念があるような、駅からのアクセス性の低下について憂慮する。</p> <p>基本構想（案）10ページ 浸水想定について 国土交通省のハザードマップ (<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/">https://disaportal.gsi.go.jp/</a>)を見ると、当別町駅前周辺もしくは旧当別小学校グラウンドを除き、0.5～3mの浸水想定となっている。災害対応性という観点から、第一候補地点に懸念がある。</p> <p>基本構想（案）25ページ 用地買収について 用地買収をすることで、当該地に居住されている住民（1名とのことですが）が当別町外へ転出される可能性もあると考える。また、用地買収にかかる費用が約7500万円と見積もられており、町人口の維持という観点および、限られた財源からの分配という観点からも、用地買収による町有地のむやみな拡大はすべきではない。 <a href="https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/27131.pdf">https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/27131.pdf</a></p> <p>基本構想（案）24ページ 敷地面積について 原案では、旧当別小学校含めた敷地面積として約2万m<sup>2</sup>を計上しているが、当該地点では旧小学校や体育館を解体せずに、グラウンド部分（約1万m<sup>2</sup>）に新庁舎を設置して、現在グラウンドを利用している団体には別地点、例えばとうべつ学園等の利用を促すという方法もあるのではないかと。それでも面積が足りないのであれば、部分的に当別小学校を解体するという手段もあり、用地買収の費用感に比べてそんな色ない規模になるのではないかと。</p> <p>基本構想（案）24ページ 河川分断の懸念について 旧とうべつ小学校地点では、河川により分断される懸念を示しているが、旧当別小学校付近の川沿いの住宅には、川に沿うような形で半地下のような構造になっている住宅が数件あり、それらの住宅が存在することで、機械的に3m未満の浸水があると評価 (<a href="https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/20078.pdf">https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/20078.pdf</a>、53ページ)され、今回の評価では河川に分断される恐れがあるという評価になっているのではないかと。付近の道路に比べて、旧当別小学校付近の道路が低いといった印象はない。</p> <p>その他 新庁舎建設検討委員会での議論について 第一候補地点選定時の委員会にて新たな人の動きが見込まれる (<a href="https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/27133.pdf">https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/27133.pdf</a>)とあったが、現庁舎付近以外の地点であればどこでも起こりうることであり、選定理由には当たらないと考える。 また、各地点の課題点について、特に安全性の担保が必要なことを町として認識しているのであれば、新庁舎の建設がなかったとしても町として対応すべき事項であり、この費用を建設地点による比較対象費用に含めて議論すべきではないと考える。</p>	<p>・建設候補地の検討については、基本構想素案での比較評価を踏まえ、各候補地の課題を整理してきました。旧公民館用地は町有地ですが、面積が狭いため、素案では候補地から除外していましたが、検討委員会での協議において、隣接する民有地の取得が可能であれば十分な敷地面積を確保できると判断し、新たな候補地として追加した経緯となっています。</p> <p>・アクセス性については、ご指摘のとおり第一候補地としている場所は駅から徒歩約8分の距離に位置しておりまして、過去のパブリックコメントでお示しした4候補地と比較するとやや距離はありますが、徒歩10分以内の範囲であり、一般的なアクセス性として十分であると考えています。候補地の選定については、アクセス性のみならず、様々な条件を考慮したうえで検討を重ね、現在の候補地を選定しています。</p> <p>・当別町防災マップの洪水ハザードマップによると、第一候補地、第二候補地ともに想定される浸水深は0.5～2.0mです。そのため、庁舎建設にあたっては、1階および2階の低層階に重要設備を設置しないなど、浸水被害を防ぐための対策を検討しています。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。 ・旧当別小学校校舎の利活用については、電気設備や給排水設備、屋上防水、天井、壁などの全面的な老朽化改修工事に多額の費用がかかる点や改修後の耐用年数も短いことを踏まえ、利活用は難しいと考えています。</p> <p>・「河川で分断された場所」の記載については、特定の住宅形状（半地下）のみを根拠として評価したのではなく、災害時における庁舎（防災拠点）として到達性・継続性の観点から整理しています。浸水のみならず、橋梁の通行安全性や動線確保など、河川があることによるリスク（分断の懸念）として整理しています。</p> <p>・新庁舎建設検討委員会資料の「新たな人の動きが見込まれる」との記載は、候補地選定における決定要因を示したのではなく、庁舎整備により期待される効果の一つとして整理しています。駅南側の商業地域に近くなることで来庁者や職員による商業店舗の利用が期待されます。 ・どこになっても安全性担保のために一定の費用は必要となるものであり、来庁者、職員、災害時対応の動線等に必要となる安全対策（追加的な措置）が想定される場合、庁舎立地に伴い追加的に必要となる費用として新庁舎の具体的な部分が明らかになってきた後に整理していくことが重要と考えています。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>基本構想（案）14ページ 再生可能エネルギーの導入について                      屋上や壁面に太陽光パネルを設置するなどの取り組みについては賛成する。特に、2026年以降軽量のペロブスカイト型太陽光の導入拡大が期待されており、国の方針にも一致しており良い取り組みであると考えます。</p> <p>一方で、バイオマス発電・熱利用は、事業性が悪化しており、林業従事者数の減少という観点でも、将来にわたって燃料が供給可能なのか不透明性が増していると認識している。熱源をLNGボイラーに変えるなどして低炭素化を目指すことは必要だが、バイオマスの導入を検討している場合は、慎重な検討が必要ではないか。</p> <p>基本構想（案）24ページ これまでの地域としての役割について                      第一候補地点では、長らく町有地の跡地となっており、閑静な地区となっていた。一方で、旧当別小学校地区では今までであった活気が移転に伴い失われている状況。第2候補地点のほうが、すでに人の流れがあった場所に対して、庁舎ができることによるため、住民からの受容性が高いと考える。また、かつては運動会や学芸会などで地域住民が集って来た実績もあり、旧当別小学校地点のほうが地域住民にとって馴染みがあり、庁舎の設置地点としてふさわしいと考える。</p> <p>また、長らく廃校舎を放置しておくことは、治安の観点からも心配があり、この点からも、小学校地点へ建設することがよいと考える。</p>	<p>・再生可能エネルギー設備の導入については、導入設備の効果や費用対効果をはじめ、全体の建設事業費との関連性も踏まえた総合的な判断が必要であると考えております。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
21	<p>基本構想（案）18ページ 複合化すべき施設機能                      検討委員会提言の、複合であれば「文化ホール、テナント導入」ありきではなく、これまで議論してきた図書館を庁舎複合施設、と位置づけるべき。文化ホールのイメージは人によって様々で、役場複合施設にはそぐわない。【当別町立地適正化計画】（令和元年）には「文化センター、図書館との複合化の可能性を検討」（p.7）とあり、当時の議会議論では、新庁舎建設では図書館との複合を考えるとしている。文化ホールのイメージが曖昧過ぎる。平たい空間のホールは町内に複数あり、必要は無いし賑わい創出にもならない。過去の報道では、役場は民間建設ビルの中に図書館建設を構想しているとあった。しかし全く実現性のないものであった。役場の複合として図書館新設はこの機会しかあり得ない。常識的な面積を備え、文化を根付かせるための図書館建設は急務である。</p> <p>基本構想（案）22ページ 庁舎規模等の検討                      町民交流スペースと窓口系の執務ゾーンは1階に配置すべきである。ユニバーサルデザインの観点から、多くの町民等が利用する窓口系の執務ゾーンを2Fに持って行くのは時代に合わない。交流スペース共々1Fとすべき。</p> <p>基本構想（案）31ページ 本構想のまとめ                      第1候補地と第2候補地を入れ替えるべきである。第1候補地は、（図面上）町有地の倍以上の民地を取得する必要があるように思う。</p> <p>第2候補地の旧当小跡地は町有地として十分な面積を持っている。しかも旧校舎には耐震化をして利用に供する部分もあることから、新築部分を極力少なく出来ると考える。</p> <p>同一敷地内での役場機能の分散化を行うことで、新築庁舎規模の縮減、それに対応した経費の節減が可能である。</p>	<p>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・旧当別小学校校舎の利活用については、意見者20の回答のとおりです。</p>
22	<p>公民館が使用できなくなって随分時が過ぎた。                      この間、住民は不自由で肩身の狭い思いを強いられてきた。この度町新庁舎建設構想（案）が示され、この中に文化ホールも併設されるようであるが、資金面からカットもありそう。近年人手不足や効率化などにより、コミュニケーション不足になってきている。人々は話し合い助け合い支えあいが必要です。心豊かに明るく楽しく誇りをもって生きる者。当別町に住みたくなる街を目指しています。</p> <p>そのためにも文化ホールは絶対必要です。この機会を逃したらおそらく町として文化ホールを持つことができないと思われれます。大切なのは絆。これを育むところが文化ホールです。新庁舎建設に付随しての町民待望の文化ホールぜひとも実現していただきたく要望します。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
23	<p>私ども、文化、芸術に関わるものとしては、ぜひ文化ホールの実現を望むものです。積立金を無駄にすることなく、次世代への投資を望みます。</p> <p>毎年開催される各種サークルの発表会や展示会、文化、芸術の干涉の機会を提供するものとして、文化ホールは必要です。</p> <p>文化ホールが発表や展示だけでなく、住民の交流や情報の収集、生きがいの拠点としての役割は大きいものがあります。このことは生涯学習の要でもあり、必ず実現させるべきものです。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
24	<p>文化ホール、又は必要時にその役目を果たせるスペースをお願いしたいです。</p> <p>既存のステージ付き施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいます(裏通路天井には穴も)</li> <li>・ステージ組立に人数と時間と力が必要です</li> <li>・各公演時、ステージとステージ袖が手狭です</li> </ul> <p>町内どの世代・人数でも利用しやすく 町外からの公演も呼びやすい環境で 当別町民の心や知識の豊かさにつながる場所を ぜひともよろしく願います</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
25	<p>新しく当別町に施設の利用ができる場所が出来るのはとても嬉しいです！</p> <p>元々、公民館を使っており、老朽化してしまい白樺コミセンへうつり借りておりますが、多目的ホールで天井の壁が落ちてきたり雨漏りしたりなどなど、不安な要素も増えてきました。</p> <p>できれば、新しく施設が作られるのであれば、夏場はもう、当別町でも高温になる事も多々あり、エアコンも付けていただきたいです。</p> <p>子供達の為にも熱中症にならないためにも、施設を毎日管理されている方々も夏場はかなり大変そうです。その方々の為にも、新しいところが増えれば、総合体育館みたく、他の地域からの団体さんが借りに来たり、試合に使われたり、当別町外の方々が往来するようになれば、当別町も少しは繁栄できればなと思います。</p> <p>今のうちにいろいろ頑張っておかないと、医療大が移転したあと、若者が全く立ち寄りなくなってしまうと思います。</p> <p>先につなげるためにも、新しい施設がほしいです。</p> <p>ご検討、宜しくお願い致します。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
26	<p>基本構想（案）18ページ他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的文化ホール（災害にも勿論つかえる）シラコミや西コミなどや総合体育館、当別学園色々ありますが、これから新庁舎として造るなら多目的文化ホールを作りたい。音響なども含めて私たちが使っても苦情がきて使いづらいです。</li> <li>・災害時に防災拠点の役場に色々おいてあるだろうからそれを少しでも早く使える場所が多目的な場所として役場にあると良い。</li> <li>・授乳室とおしめを変える場所（別々） （女性だけがおしめを変えるわけではないので女子の所にだけなどはやめてほしい）</li> <li>・トイレにつける赤ちゃん用椅子の近くに緊急の紐などを付けないで欲しいです。道の駅がそうだと記憶しています。</li> <li>・寒暖エアコン（職員さんのためにも。要項の中にあっただらうしません）</li> <li>・人口減少している当別町ですが今回の建て替えて、役場職員さんも住民も使いやすい行きやすい庁舎になりますよう更に魅力ある当別町になりますよう心から願います。</li> </ul>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p> <p>・文化ホールなどの複合機能の整備が可能な場合には、災害時の活用を含め用途や機能について検討してまいります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
27	<p>基本構想（案）18ページ：3-3. 複合化すべき施設・機能 （文化ホールとテナント等）とありますが、「文化ホール」の使用頻度は年間どのくらいのものなのでしょう。またテナントも埋まらなければ空きスペースになるのではと懸念します。複合化するのであれば、是非「図書館」を一緒にしてください。町民のみならず役場職員及び町会議員の方々にも、日々すぐにでも利用できる資料が、手元にあることは大変便利で効率の良いことだと考えます。また、この高齢化社会の一員として何歳になっても学ぶこと考えることの手助けになるよう、資料をそろえて提供していただきたい。</p> <p>基本構想（案）24ページ：4. 建設候補地の検討 当初は①、②、③の三か所だったことを記憶していましたが、⑤旧公民館用地およびその周辺用地が第一候補地に浮上して驚きました。町から公民館および郷土資料館がなくなって長い年月が経ちますが、無くてよかった施設ではないと感じています。建物の老朽化による閉館は仕方のないことですが解体も必要なことでしょう。けれども、町づくりは人づくりからですので新庁舎には町の人づくり満載の場所を目指して出発してほしいと思います。23ページには町のイメージが掲げられています。（伊達藩の入植）は大きなイメージのひとつですが、今は大きなダム湖がある青山地区もかつては賑わいのある地域だったでしょう。そういう歴史の資料を大切に伝えていくことも忘れてはいけません。新庁舎にすべてを兼ね備えることは難しいですが、この候補地の場所が現役だったころを思い出したので、人づくりには大切な機能であったことを付け加えました。</p>	<p>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
28	<p>明確な説明がありません。 曖昧かつ納得出来る内容ではありません。 町の存続を見据えた計画について具体的なビジョンが打ち出されていない状況で新庁舎の話を進めている時点で計画性の不十分さを感じずにはいられません。 これからこの町をどのようにしていくか？ すべての取り組みをタテ割りにせず ワンパッケージで各施策をリンクさせていかに効率的にまちづくりをすすめていくか？ もう一度しっかり考えてみてほしいと思う。 舵取りをする明確なリーダーシップが確保出来ないのなら、まずは牽引するチームを擁立するところからはじめてもいいのではないかと感じます。 良くない流れの中にあるような気がしてなりません。私が思うに当別町が持つ町としてのスペックは決して低いものではなく、取り組み方、考え方を一新することで活路は見出だせるに充分だと思います。 町民と広く対話、ディスカッションする機会をいま一度作って頂ければもっと明確に未来が見えてくると感じます。</p>	<p>・貴重なご意見として承ります。</p>
29	<p>基本構想（案）10ページ 1-4. 庁舎建替え事業に伴う要点 (2) 町民サービスや町民交流機能の向上について ・庁舎内でフリーWi-Fiの環境を作ってください。 ・行政業務もペーパーレス化になることによって、業務がスリム化され、住民が各部署（あるいは課）ごとに回るのではなく、なるべく一か所で「住民がことを終えるよう」にしてください。ただし、デジタルに弱い者にたいしては親切に細かくサポートサービスを職員がしてくれる必要があります。そこは職員への教育が重要と思われます。最近多くの住民はスマホを携帯していて、フリーWi-Fiの環境をつくってください。 「デジタル田園都市」を公約にいられた現町長にとっては、ここで手腕を発揮するところだと思います。デジタル業務をすることで、仕事がスリム化されますし、住民にとってもアチコチ振り回されなくてすみます。</p> <p>(3) 町議会議員・町職員の執務環境と福利の向上 元来の議場は不要。フラットであること。そして、他の会議にも使用できる多目的会議室にしてください。現議場は議員の顔が見られません。（YouTubeも同様）傍聴人が議員全員や職員の顔の表情をみることも必要です。階段傍聴席は不要。議場だけでは使用効率が悪い。</p>	<p>・現庁舎内ではフリーWi-Fiの環境を整備していますので、新庁舎においてもその環境を継続する方針で考えています。 ・デジタル化の推進による住民サービスの向上と業務の効率化については、今後も積極的に取り組んでまいります。</p> <p>・議場の議席や傍聴席の配置、多目的利用については、いただいたご意見を踏まえ、議会側と協議の上、検討を進めてまいります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>(4) ユニバーサルデザイン・省エネルギー等への対応 これは大いに必要です。専門家の知識を大いに利用すること。特に、庁舎は「ひとにやさしい」木材を使ってほしいです。可能ならば「町有林の材木」、今回はそれが無理だろうから「道産材」を使った従来型の在来工法にしてください。エネルギーにはペロブスカイト太陽光発電を採用して、蓄電もできる地産地消のエネルギー対応にしてください。当別町の6割が森林だと聞いたことがあります。是非、町の特質を生かしてください。 また、地震、水害、各種の災害に備えて、災害本部のある庁舎に自家発電ができるシステムは絶対不可欠です。住民が安心して避難できる場所を多く確保してもらいたいです。</p> <p>(5) 管理コスト・ライフサイクルコストの縮減 10年、20年後の庁舎内の職員数や議員数も減ることでしょう。その検討が必要です。医療大の北広島移転に伴う人口減少は学生ばかりでなく、その影響は他にもあると思います。</p> <p>(6) 公共施設と中心市街地回遊性の向上 公共施設は庁舎ばかりではありません。現「当別町図書館」の機能の充実を図り、郷土資料館を再開して、博物館、公民館、文化ホールなどの文化施設の構想を練ることのほうが「まちのにぎわい」は創出できるのではないのでしょうか。その時に、是非、庁舎の駐車場は土・日・祝日にも開放してほしいです。町外からの来客のため、大型バスなども利用できるような駐車場が必要です。当別町は南北に長く、車で移動する住民も多いので、駐車場を増やしてほしいです。 最近では体験型観光で来町する町外の人もいるので、歴史的な資料を持つ「吾妻文書資料館（文書館）」や郷土資料館の再開など、本町の特質を生かした施設を充実させ、整備に力を入れると、多くの町外の観光客を取り込むようになるでしょう。それにより、町内の商店街は活気づくと思います。残念ながら、商店が休日に休業する傾向にあります。</p> <p>(7) 当別の顔づくりと景観向上や周辺への波及効果 (4)と(6)と同様</p> <p>(8) 町民アクセスと道路交通の条件 車移動の人は駐車場さえ確保されたら、庁舎はどこでも良いのでしょうか、電車利用の人は、今の役場庁舎が近いと思います。 公民館跡地の一本ではなく、庁舎は分散化しても良いと考えます。公民館跡地は結構徒歩では遠いと思います。現役場庁舎や元当別小学校のほうが便利ではありませんか。とくに、乗り物の無い高齢者を考えると当別駅に近いと便利です。 分散することで、行政の仕事は煩雑になりますが、デジタルで業務すると町民があちこちに行かなくても、そこで「用事」が完結するように。それがサービスではあるかと思います。また、土地取得のお金もかかりません。</p> <p>(9) 敷地条件の適正さと用地確保の容易さ (8)と同様に現役場と元当別小学校の敷地を利用すること。公民館周辺の民間買収にはお金がかかります。分散することで、1階建ての建築にして、エレベーターや階段を作らなくて良いと思います。(8)と同じ理由です。どうしても公民館というならば、民間の土地を買収しないで、行政の課を分散することが適切です。人口減になるマチでお金（税金）を使わない。また、町有地を増やさない。</p> <p>基本構想（案）15ページ3-1. 新庁舎の所要室・面積・設置基準等 基本的に、職員数、議員数を人口減の現状で、もう少し詳細に検討することを願います。（人数が明記されていない）人口が減少しているのに、全体の利用数の検討が必要だと思えます。</p> <p>庁舎分散型にして、庁舎を平屋にしたら、階段、エレベーターは不要になります。また、議場も大会議室と兼用でもよいことになると、床面積がおのずと縮小されます。庁舎分散することで、一ヶ所での敷地面積が大きくなる必要もなく、民間地の買収は不要になります。町税を使うことには慎重になってほしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重なご意見として承ります。</li> <li>・ 再生可能エネルギー設備の導入については、意見者20の回答のとおりです。</li>   <li>・ 貴重なご意見として承ります。</li>   <li>・ 複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</li> <li>・ 貴重なご意見として承ります。</li>   <li>・ 分散化の検討については、意見者10の回答のとおりです。</li> <li>・ アクセス性については、意見者20の回答のとおりです。</li> <li>・ デジタル業務の推進については、意見者10の回答のとおりです。</li>   <li>・ 分散化の検討については、意見者10の回答のとおりです。</li> <li>・ 1階建ては屋上や基礎部分の面積拡大につながり、一概にコストが低くなるものではないことから慎重に検討してまいります。</li>   <li>・ 将来的な人口減少に伴う職員数や議員数の減少について、現時点で具体的な予測は困難です。しかし、これらの変化に柔軟に対応できるよう必要な機能を確保しながらも、過剰なスペースや設備を避けるよう努めてまいります。</li>   <li>・ 分散化の検討については、意見者10の回答のとおりです。</li> <li>・ 新庁舎の建設にあたり、平屋の場合、水に浸してはならない設備（サーバー、非常用発電設備等）を浸水想定深より高い位置に設置することが必要となります。そのため、建物の設計にあたっては浸水リスクを含めた様々な観点で検討していく必要があると考えています。</li> </ul>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>基本構想（案）16ページ 分散化のメリット・デメリットの比較 N T T、旧当別小学校の建物を再利用するのは、無理だと思えます。この分散はただの「建物の再利用案」ですね。 一方「分散化」とは「役場の業務を分散する」という考え方で検討してほしいと希望します。特に旧当別小学校の築年数は54年ですが、それなりに「耐震補強は隣接する体育館と同年」で耐震補強が終わっていると思えます。せめて、そこを「仮庁舎」にして使うのはどうでしょうか。 そして、現役場か旧公民館に分散した新庁舎の一部を。2つ目は旧当別小学校のグラウンドにどちらも平屋の新庁舎を建てるとして、町有地を有効利用できないでしょうか。民有地を買収するのは、税金の大きな出費だと思えます。今ある財源を考えて、町有地を最大限に利用して、これ以上町税で民有地を買収するという案は納得できません。その分、業務を「デジタル化」して、スリム化を徹底して、分散するのが有効です。みんな一緒に大きな建物にいる必要はこの時代、どうなのでしょう？</p> <p>基本構想（案）17ページ ③ その他機能 町民交流機能 これは不要だと思えます。 町民交流機能は、町内での情報発信の「当別町図書館」を充実させて、しっかりした文化を育ててください。</p> <p>基本構想（案）18ページ 3-3. 複合化すべき施設・機能 ここで記載されている「文化ホール」と「テナント」の具体的な構想がないようです。12月の説明会でも、文化ホールの明解なイメージはありませんでした。今回は不要だと思えます。 文化ホールは個々によってイメージが違います。白樺コミセンの体育館のような平面が良いのか、階段式のイスがついた小ホールが良いのかそれによって、コスト的にも違います。また、音響設備、防音設備、照明設備のコストにも違いが出てきませんか。</p> <p>基本構想（案）21ページ iii) フロア構成の考え方 ⑤の文化ホールおよびテナントは不要で、1階に窓口業務において、利用する住民のことを第一に考慮してください。 ②と④は一緒にする。特に天井の高い議場は不要。 4階建てという構想自体、再検討してください。「ひとにやさしい」と提唱するわりには窓口業務を2階に持って行くのは疑問。また、議場は稼働率を考えて、「兼用」にするべきだと思えます。</p> <p>基本構想（案）24ページ 4. 建設候補地の検討 ②の旧当別小学校の土地面積（18、100㎡）が一番広いので、これを有効活用したら良いと思えます。⑤の旧公民館用地と周辺用地をわざわざ買収しても13,790㎡しかありません。 民有地を町有地に増やす必要はありません。買収には大きな町税の出費があります。 もし、旧当別小学校が手狭ならば、旧公民館や現役場用地も使って分散して活用してください。どちらも町有地です。</p> <p>基本構想（案）31ページ 6. 本構想のまとめ 「分散化は行わないこととする。」について再検討を希望します。「既存の施設」において「再利用する」という分散化の考え方ではなく、デジタル田園都市として位置付けるために行政のデジタル化・スリム化を図り、業務自体を「分散化」する方向で考えて、候補地を「町有地のみ」で再検討してほしいと切に願います。また、旧当別小学校が第2候補地になっている理由がパンケチュベシナイ川のそばで、災害には不安が残るようです。ところが、旧公民館も目の前には川はありませんが、当別川は近くに位置しています。川を挟んで市街地の人口も検討することは必要ですが、その川で二分して、災害対策を考えるのも必要ではありませんか。 旧公民館も旧当別小学校も現役場も解体するのは時間の問題ですね。今の町の財政では民有地買収をする余裕はないのでしょうか。 人口は減少化の一途をたどっています。子どもたちに借金を背負わせることになりませんか。 また、行政の業務が分散化されることで、災害のときに多様性があるって、一元化されずにかえって動きやすいのではないのでしょうか。一度、シミュレーションする必要があるかと思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分散化の検討については、意見者10の回答のとおりです。</li> <li>・デジタル業務の推進については、意見者10の回答のとおりです。</li> <li>・建設候補地の選定については、土地の立地条件のみならず、既存施設の解体費や民有地の取得費を含め、総合的に判断し、できる限りコストを最小限に抑えながら建設していくこととしています。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の利用頻度が高い窓口や執務ゾーンは1, 2階を想定しています。</li> <li>・基本構想（案）に記載された「フロア構成イメージ案」は、4階建てとした場合の参考イメージを示したものです。具体的なフロア構成については、今後の設計段階で検討してまいります。</li> <li>・議場の整備については意見者29の回答のとおりです。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設候補地の選定については、土地の立地条件のみならず、既存施設の解体費や民有地の取得費を含め、総合的に判断し、できる限りコストを最小限に抑えながら建設していくこととしています。（再掲）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル業務の推進は、オンラインでの手続きや情報提供を充実させることで、利便性の高いサービスを受けられる環境整備を目指していますが、そのような環境整備には一定の時間を要します。また、すべての業務がデジタル化によって対応可能になるわけではなく、来庁による手続きや対面での相談業務は、引き続き、重要な役割を担います。そのため、庁舎機能を分散することで町民の皆様の移動や手間が増え、利便性が低下する懸念があります。</li> <li>・災害対応では、指揮命令系統や情報を集約する中心的な拠点が確実に機能することが最も重要です。初動対応の迅速さや正確さを確保するためには、分散ではなく、情報と指揮を一本化した体制が必要だと考えています。</li> </ul>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
30	<p>基本構想（案）15ページ 3-1 新庁舎の所要室・面積・設置基準等の項で、適正化面積の合計が4,597㎡とされているが、縮減できるのではないか。 議場・議会関係の面積が事務室の約半分も占めているがここを減らすべき。 議会閉会中は一般会議室などで利用することはもちろん、これまでの天井の高さはいらぬし、傍聴席を高くする必要もない。同じフロアに傍聴席を配置することで、開かれた町議会のイメージに寄与することになる。これまでの議場が、議員定数も減少しているなかで同様の面積を使うのはもったいない。（今後も議員定数削減が予想されている） 特に、現在の傍聴席からは、発言者のみ、モニターか、発言の演台に立った時しか見えず、他の議員の姿が見えない。</p> <p>基本構想（案）18ページ 3-3 複合化すべき施設・機能の項で、文化ホールとテナントの導入が記されているが、どちらも不要である。 文化ホールとなると、固定席・舞台があるものになるが、その活用がどれほどの見込みがあるのか疑問だ。「あった方がよい」という理由なら「なくても良い」ものではないか。 テナントについて、そもそも、どのような業者を想定しているのか疑問。近くにはコンビニが2軒、サツドラ、食堂、商店、パン屋などがあるから、不要であり、それら町内の商店などの客を奪うのではないか。文化ホールは、人口減少が必至の中、その管理費用などのランニングコストも町財政から捻出しなければならぬことも考えるべき。 面積が増えると、その分、建築費用が膨張するから、本当に必要な施設にすべき。</p> <p>基本構想（案）21ページ 3-4-（1）iii）フロア構成の考え方について「4階建て」としているが、木造平屋の在来工法の庁舎を検討してはどうか。当別産木材や道産木材を使うことで、当別らしさが引き立つ。昨今、建築資材が高騰しているなか、木材はさほど値上がりしていないと聞く。 また、エレベーターが不要になるので、保守・点検などメンテナンスの費用もかからない。平屋にすることで、1階面積が広くなり、屋根も広いので、太陽光パネルも設置面積を広くできる。 *④の議場は天井高を必要するとあるが、それはなぜか。これが疑問。平屋にすることで、エレベーターと階段の面積も減らせる。フロア面積を出来るだけ小さくすることで建設費用を削減できる。</p> <p>基本構想（案）23ページ 3-4-（2）新庁舎デザインの考え方はおおむね賛成できる。 そこから表現される新庁舎は、「豊かな森林」「北欧風」（スウェーデンハウス風）をイメージして、木造平屋、オール道産木材（できるだけ町産木材）とする。かなりインパクトのある庁舎となり、当別らしさを表現できる。 仮に、水害等の対応として、2階が必要になるとしても、エレベーターを1基、階段およびスロープを付けるなどで、木造の庁舎を推す。何十年後に、建て替えが必要になった場合、木材は再利用しやすいし、経年で色合いや味が出てくる。 廃材が環境に負荷のかからないものとするためにも、木材の利用が最も良いのではないか。</p> <p>基本構想（案）28～29ページ 5 この基本構想（案）では、PPP（リース方式）を有力視しているように受け取ったが、評価項目でもう一つ加えたい項目がある。それは「リフォーム」が必要になった時のことである。将来の人口減や町の状況変化によって、庁舎配置の変更やリフォームが必要になった場合、リース方式は対応できるのか。 従来方式の自前の庁舎の方が、町自らの意思で対応できるように思う。 *説明会ではリース方式で公的施設を建設しているという具体的な例が示されなかったので、不安がある。ここまで4項目にわたって建設費の削減につながる意見を述べてきた。 民間の力を否定するものではないが、道内での実績がない手法をあえて選ぶ必要があるか疑問だ。 民間の力を活用するというのであれば、建設段階はもとより、外壁の塗り替えやメンテナンスなど地元の業者も参入できるようにすべき。 なるべく、町外にお金を流出させないように考えてもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎面積については、設計段階で再度検討してまいります。</li> <li>・議場の整備については意見者29の回答のとおりです。</li>   <li>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</li>   <li>・新庁舎の平屋での建設については、意見者29の回答のとおりです。</li>   <li>・PPP（リース方式）については、例えば、リース期間を20年とした場合、リース期間中の建物の修繕などの維持管理などはリース会社が行うこととなります。しかし、リース期間終了後は町に所有権を移すことを予定しており、その時点では状況の変化に応じた対応が可能であると考えています。</li> <li>・また、PPP（リース方式）による建設においても、地元企業が参入可能な発注形式を検討しています。</li> </ul>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
31	<p>町役場庁舎の老朽化・耐震性の問題から建て替えが検討されていることは理解しているが、医療大学の移転により残る既存校舎の活用、特に比較的新しい10階建て「中央講義棟」の一部をリノベーションし役場機能を移転する可能性についても、検討してはどうか。あわせて、医療大学跡地については当別町・医療大学・JR北海道など関係機関が密に連携し、当別町及び北海道、日本にとって意義のある再開発利用の在り方を協議して進めて頂きたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療大学の移転により、多くの校舎が今後空き施設となる見込みであり、中でも中央講義棟はそれほど劣化しておらず、構造的にも活用の余地がある建物であります</li> <li>・新庁舎を新築するだけでなく既存建物を活用することで、コスト削減や資源の有効活用及び町と大学の関係も移転してもわだかまりもなくなります。</li> <li>・医療大学は跡地の売却を考えていると思われるが、将来どのような団体が購入するかは不透明です、場合によっては、資金力のある、町にとって望ましくない団体へ売却される可能性も否定できず、それが当別町の将来に悪影響を及ぼすことを強く懸念致します、その様な事態を防ぐ為にも、当別町が主体的に医療大学、JR北海道と協議し、公共性・地域性・将来性を踏まえた跡地利用を進める事が重要であると考えます。</li> </ul> <p>医療大学跡地の広大な敷地と既存建物を最大限に有効活用し、新庁舎を中核とした「移住・教育・医療・農業・エネルギーが循環する集約型コミュニティ」として再開発する事を提案致します。</p> <p>各建物にリノベーション・改修工事を施し、役場庁舎、移住者向け住居、教育施設、農業・医療・福祉機能を集約する事で当別町への大規模な移住促進と、持続可能な町づくりを目指して頂きたい。</p> <p>☆庁舎・住居・移住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内「古い・寒く・地震のリスクがある住宅」に住む住民移転の促進を考えて下さい、高齢者から若い世代まで、幅広い世代が安心して暮らせる住環境を整えて頂きたい。</li> </ul> <p>☆教育・学びの場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクール、フリースペースを設け、0才から人生の最期まで学び続けられる生涯学習出来る環境の構築をお願い致します。</li> <li>・通常の学校環境に疲れた人、誰もが受け入れられる「居場所」とする。</li> <li>・医療大学の学校法人にも協力を依頼し、教育資源を活かした運営を検討して頂きたい</li> </ul> <p>☆農業・食の自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町内の高齢者・農地を有効活用</li> <li>・移住者が働き手となり、食料を栽培し自給自足に近い暮らしを実現し、余剰分は高級食材として販売する農業法人の設立も検討して頂きたい</li> </ul> <p>☆医療・多種多様な職種の人材を集め、医療・福祉・生活支援が集約されたコミュニティ形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎を中心に、機能的で安心出来る集落づくりを進める</li> </ul> <p>☆交通・エネルギー・生活インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR北海道にも移住支援・人の流れづくりの協力を要請</li> <li>・エネルギーも可能な限りの自給自足できる施設整備を目指して頂きたい</li> <li>・霊園についても将来を見据えて整備・完備する</li> </ul> <p>☆資金計画・事業体系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規移住者からの投資・寄付・リノベーション工事費の負担</li> <li>・「資産価値のある田舎でスローライフを送りたい高所得層・高齢者」も含め、世代・属性が偏らない移住者募集を行う</li> <li>・広大な跡地を活かすため、大手不動産会社等の関与も必要も考えられます</li> </ul> <p>☆設計については</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これ程大規模なリノベーションの前例は少ないが、実現は可能と考えます</li> <li>・設計はリノベーション物件を得意とし数多く手掛けている馬場正尊氏が最適と考えます</li> </ul> <p>・文化ホールには 専属の劇団等を探し作るなら稼働率を上げるなど策も考えて下さい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療大学跡地の活用については、建物所有者と協議しながら別途検討を進めています。</li> <li>・医療大学の移転後、役場庁舎としての利活用については、災害時の対応を踏まえた場合に、市街地から離れているというデメリットがあるため、検討対象から外れています。</li> </ul> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
32	<p>基本構想（案）14ページ（2基本方針 ①まちづくりに寄与する庁舎）、23ページ（図-03新庁舎デザインの考え方）</p> <p>【意見1】 新庁舎の建設にあたっては、地産地消と環境負荷低減の観点から、道内産木材を構造材を含めて積極的に活用することを明記してください。また、建設コストの縮減と環境配慮を両立させるため、高コストな特殊工法に限定せず、木造在来工法等の採用を基本として建築手法の検討を行うことを明記してください。</p> <p>基本構想（案）14ページ（2基本方針 ④環境に配慮し、長く有効的に活用できる庁舎）</p> <p>【意見2】 ゼロカーボン社会の構築に向け、建物自体の環境性能を高めるパッシブデザインの具体的な手法を明記してください。具体的には、とうべつ学園でも実績のあるクールヒートトレンチ（地中熱利用換気）の導入や、夏場の日射遮蔽（庇の設置）、自然採光の確保などを積極的に採用し、換気・空調負荷を根本から低減する設計を明記するよう求めます。また、熱源に関しては化石燃料の使用を避け、空気熱源ヒートポンプや地中熱など、複数の熱源を組み合わせることで、災害時のレジリエンス強化とCO2削減の両立を目指すことを明記してください。 意見の内容ペロブスカイト太陽電池など、現在はコストや技術面で導入が難しくても、将来的に普及が見込まれる脱炭素技術については、後からスムーズに導入できるよう、配管スペースや設置余地を確保するなどの将来を見越した設計上の配慮を基本構想の段階から盛り込むことを明記してください。</p> <p>基本構想（案）15ページ（3-1. 新庁舎の所要室・面積・設置基準等）</p> <p>【意見3】 議会議場については、年間に使用日数が少ないので、専用議場とはせずに、会議室等と兼用とすることを明記してください。</p> <p>基本構想（案）17ページ（3-2. 現庁舎に不足している機能の構築）、全体を通して</p> <p>【意見4】 新庁舎への移転に伴う備品・什器については、廃棄物を最小限に抑えるため、旧庁舎で使用していたものを可能な限り再利用（リユース）することを明記してください。新規に購入が必要な物品については、木製品やリサイクル製品を選ぶグリーン購入を原則とすることを明記してください。なお、執務室は庁舎の効率的な利用のためフリーアドレスにするなど工夫することを明記してください。さらに、再利用できない旧庁舎の廃棄備品については、ただ廃棄するのではなく、町民や町内施設等への譲渡会を行うなど、リユースの機会を設けてください。</p>	<p>・新庁舎の建設については、意見者12の回答のとおりです。</p> <p>・再生可能エネルギー設備の導入については、意見者20の回答のとおりです。</p> <p>・議会の開催日数については、年4回の定例会に加え、臨時会、常任委員会、特別委員会など、年間を通じて活動している状況です。 ・議場の整備については意見者29の回答のとおりです。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
33	<p>基本構想（案）9ページ 1-3. 各種計画内の記載内容を踏まえた庁舎整備の方法</p> <p>「庁舎整備の方法としては、建て替えが有効な方法」と記載があります。現庁舎については、耐震改修か仮設庁舎に多額の費用がかかることが説明されていますが、耐震改修済みの旧当別小学校校舎を改修する場合と新庁舎を新築する場合の費用や耐用年数の比較がされていません。旧当別小学校校舎はコンクリートの圧縮強度は設計基準を上回っているようですが、文部科学省の耐力度調査ではほとんどの建物で改築が必要と判定されています。これはコンクリート中性化が進行していることが影響しているのではないかと考えられますが、コンクリート中性化は対策工事を行うことで築80年程度まで利用が可能でもあります。福岡県八女市立福島中学校屋内体育館などコンクリート中性化対策を行った事例もあります。旧当別小学校校舎についても、これらの試算を行ったうえで、利用可能年数と工事費の比較を行ったうえで、より負担が少ない手法を選択することを基本構想に明記してください。</p> <p>基本構想（案）12ページ 2-1. 庁舎建替えの基本方針</p> <p>・役場新庁舎の建築費は、今後長年にわたって町民への行政サービスの財源である一般会計で負担するものであるから、建築・維持管理・解体までの通算で最も低廉な手法で行うことを基本構想に明記してください。</p> <p>・建築費の縮減、環境負荷低減につながる道産木材の利用の観点から、当麻町役場庁舎などで採用実績がある木造在来工法での建築を基本とすることを基本構想に明記</p>	<p>・旧当別小学校の利活用については、既存施設を活用した分散化の検討にあたり、令和6年度に実施した現庁舎の耐震化調査に基づく改修工事費のコストを参考にしました。その結果、既存施設の改修コスト単価が新築コスト単価とほぼ同等の費用が予測される上、耐用年数は概ね10年程度と整理しています。</p> <p>・建設コストは町として重要な懸念事項であり、町民の皆様へ過度な負担をかけないよう慎重に検討を進めています。物価高騰や建築単価の上昇が進んだ場合には、庁舎の必要面積縮小なども視野に適切な措置を検討いたします。 ・貴重なご意見として承ります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>基本構想（案）13ページ 2-1. 庁舎建替えの基本方針（2）取巻く時代潮流 ○経済の活性化          ・「新庁舎の周辺において、経済の活性化につながるような建設」と記載がありますが、当別町として目指すべきは「新庁舎の周辺」の経済活性化ではなく地域全体の経済活性化です。「新庁舎の周辺において」の文言を削除してください。</p> <p>基本構想（案）15ページ 3-1. 新庁舎の所要室・面積・設置基準等          ・新庁舎建築にかかる費用を縮減する観点から、議会議場など年間利用日数が少ない施設は、専用で設けずに他の施設と兼用とすることを基本構想に明記してください。          ・新庁舎供用開始を2030年とした場合、20年後の2050年には当別町の人口は1万人を下回る可能性が高く、それに合わせて職員数も少なくなります。今後の職員数の減少を念頭に、減築可能な構造とすることや、一部分を他の用途に転用できる様に建物の躯体（スケルトン）と内装（インフィル）を分離するスケルトン・インフィル工法とすることを基本構想に明記してください。</p> <p>基本構想（案）18ページ 3-3. 複合化すべき施設・機能          ・複合すべき施設として文化ホールと記載がありますが、文化ホールがどのような設備を有する施設であるかの記載はありません。基本構想（素案）では複合施設としての文化センターについて「白樺コミュニティセンターの多目的ホール部相当」として400㎡との記載がありました。文化ホールが老朽化している白樺コミュニティセンターの多目的ホール（体育館）を代替する施設を想定しているのか、座席や音響設備を備えたホールを想定しているのか、町民により受け止め方がちがっているのが現状です。公開されている当別町新庁舎建設検討委員会の議事録を拝見しても、文化センター基金（約2億円）を活用してはどうかとの意見はありましたが、文化ホールの内容について議論された記録は見当たりません。複合すべき施設として基本構想に記載するのであれば、最低限、用途や面積、設備の概要と概算の事業費を明記してください。          ・文化センター基金（約2億円）を活用することが目的であれば、当該基金残高の範囲内で整備できる施設とすることを基本構想に明記してください。          ・公益社団法人全国公立文化施設協会の令和6年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書によれば、町村が設置した施設の年間利用日数は平均234日に留まっています。音響設備や座席を備えた文化ホールを想定しているのであれば、文化ホールの複合化は新たな公共施設の建設ですので、施設稼働率、維持管理にかかる費用など他地域の事例を調査して、当別町においてどのような施設がなぜ必要とされ、どの程度の稼働率を見込めるかの検証を行ったうえで、文化ホール自体の必要性の可否を判断することを基本構想に明記してください。</p> <p>・同様に複合化すべき施設としてテナントの記載がありますが、面積やテナントにかかる事業費の記載がありません。テナントを設置する場合、追加の事業費がかかる一方で家賃収入が見込めます。事業費と家賃収入の見込みを基本構想に明記してください。          ・町内には、空き店舗があり、町としても当別町市街地空き店舗等活用促進事業補助金を設けています。今後北海道医療大学の町外移転によりさらに空き店舗が増加することも危惧されます。基本構想（案）には、町の未来を考えた賑わいの創出という観点から庁舎に新たなテナントを設けるとありますが、このような状況で新庁舎に新たなテナントを設けることは基本構想（案）12頁に記載がある「中心市街地活性化への寄与」を阻害するおそれがあります。中心市街地活性化のためには、庁舎に新たなテナントを設けるのではなく、町内の空き店舗の活用が最優先です。よって、テナントの家賃収入により庁舎建設の事業費が縮減される場合を除いて、庁舎にテナントを設けるべきではありません。</p>	<p>・ご指摘の内容については、精査し、基本構想（案）を修正します。</p> <p>・議場の整備については意見者29の回答のとおりです。          ・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・ご指摘の内容については、今後、設計段階において精査し、建設の可否を判断してまいります。</p> <p>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。          ・貴重なご意見として承ります。</p>
34	<p>1. 庁舎の階数・平屋化          該当：基本構想（案）15ページ「フロア構成：4階建て想定」          意見：新庁舎は平屋建てとすべきです。          理由：          完全なバリアフリー動線を実現できる          エレベーター・階段室などの縦動線設備や保守コストを削減できる          当別町は敷地確保コストが低いため、高さより平面拡張の方が総事業費の節減に有効          堆雪スペース確保や災害時の部署間連携動線も単純化できる</p>	<p>・新庁舎の平屋での建設については、意見者29の回答のとおりです。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>2. 木材の使用範囲の拡大                      該当：基本構想（案）23ページ「外装・内装に木材活用」                      意見：意匠材だけでなく構造材（梁・柱・軸組）にも道産材・町産材を使用すべきです。                      理由：                      木材需要が町内林業・製材・輸送・大工雇用の循環を生み、山と森林の育成投資サイクルを形成できる地域の風土資源そのものを建物に表出でき、当別の「顔づくり」として本質的</p> <p>3. 工法の選択（木造在来工法の採用）                      該当：基本構想（案）30-32ページ「事業手法の評価（工法の記載なし）」                      意見：木造在来工法（従来軸組工法）を採用すべきです。                      理由（メリット補足）：                      町内の大工・工務店が直接施工に参画しやすく、技術継承と雇用創出が最大化される                      間取り変更の柔軟性が高く、部署再編やデジタル化（DX）にも長期対応可能                      将来の災害復旧・改修も地域内で迅速・低コストに実施できる                      解体時の再資源化率が高く、森林資源の循環と環境負荷低減に寄与</p> <p>4. 大規模・限定用途施設の複合化見直し                      該当：基本構想（案）16ページ、21ページ「複合化機能：文化ホール／議場4階配置」                      意見：文化ホールや議場などの大規模かつ限定用途の施設を庁舎に複合化すべきではありません。                      理由：                      低利用率施設は維持費・光熱費・改修費の回収が困難 → 財政の赤字構造化リスク                      施設削除により階数・設備・延床面積・躯体負荷を圧縮でき、管理コスト平準化に有効                      交流機能はカフェ・町民サロン・キッズスペース等の日常平面機能で十分代替可能</p> <p>5. 産業・森林育成の方向性明記（実例補強）                      該当：構想案 全体（林業活性化の直接記載なし）                      意見：基本構想に「町産材の優先利用」「山・森林を育てる投資循環の形成」を明記すべきです。                      理由：                      当麻町の新庁舎では道産材＋在来工法を採用し、壁を固定せず集成材の柱でゾーンを仕切る構成とした。                      これは部署間の横連携向上・縦割り組織弊害の緩和効果があると考えます。                      これは当別町でも庁内の連携強化、災害時の意思決定の迅速化、組織文化の交流促進に応用できる有効な実例です。                      町産材需要創出は林業の活性化 → 伐採・植林・保育・間伐の循環促進 → 山・森林育成に直結します。</p> <p>6. 期待される効果（要点）                      町産材・道産材 × 木造在来工法 × 平屋の組み合わせは、                      総事業費の節減                      維持管理リスクの縮減                      災害対応の迅速化                      林業循環と山・森林育成投資の活性化                      部署間の横連携と縦割り弊害の緩和                      を同時に実現できる可能性が高い整備方針です。</p>	<p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>7. 北海道森林組合連合会の見学と提案強化                      該当：構想案 全体（木造工法・構造材の地域材使用の明記なし）                      意見：基本構想の検討関係者・設計者・行政マネジメント層に、地域材活用と木造在来工法の実装を確認できる現場見学を推奨してください。                      理由：                      ・私は同連合会を訪問し、木造在来工法（2階建て）による道産材活用の施工事例と、集成材の柱で壁を固定化せず仕切るオフィス構成が部署間の横連携向上に有効であるという説明を直接確認しました。                      ・さらに、道産材の加工・集成・プレカットを行う道内工場の見学を加えることで、調達の地域完結性・価格安定リスクの低さ・将来改修の迅速性の認識共有が進み、検討の具体化と合意形成を加速できます。                      ・当麻町役場や当麻町内の道産材活用建築、その他の道産材を構造に使った道内公共建築も、意匠ではなく構造として地域材を使う実務的価値、縦割り組織弊害の緩和、災害時の意思決定迅速化、林業循環による山・森林育成投資モデルの応用実例として有効です。</p> <p>8. 見学推奨の要望                      該当：基本構想（案）12-16ページ「基本方針①～⑤」                      意見：基本構想案の関係者に、以下の見学先を合意形成と実装イメージ共有のための推奨対象として追記してください。                      推奨する見学先（案）：                      ・北海道森林組合連合会の庁舎（木造在来×道産材活用の施工と実例説明の確認）                      ・道産材の加工・集成・プレカット工場（道内）（地域完結の供給工程の確認）                      ・当麻町役場・当麻町内の道産材活用公共建築（柱だけで仕切る壁なしオフィスによる横連携向上、林業循環による山・森林育成投資モデルの背景）</p> <p>・その他、道産材を構造として使用した道内公共施設（構造材としての地域材活用の実務価値）                      理由：                      ・机上比較だけでは伝わりにくい工法・構造・素材選択の実装イメージを現場で共有でき、検討の手戻りと合意形成コストを縮減できるためです。                      ・これは町内林業の活性化 → 山と森林を育てる投資循環の具体化にも直結します。</p>	<p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
35	<p>① 道東のある町では、昭和46年に新築されたものを、20年程前に耐震補強とバリアフリー化、雨漏り対策として勾配のある屋根を増設しました。エレベーターは設置出来なかったため、車椅子使用の方については、職員がチームで対応することにしました。現在、使用に問題はありません。「古くなったら改築あり」の発想がではなかったかの精査が前提になると思います。</p> <p>② 木造の在来工法により、出来れば平屋建て（エレベーターと階段のスペースが不要）、災害対策上必要であれば2階建てにするのが良いと思います。</p> <p>③ 施行は分割発注とし、町内業者も元受けとして参入して頂けるようにするのが良いと思います。</p> <p>④ 材料は出来るだけ町有林の伐期が来たものを使い、留辺薬工場で人工乾燥により短期日で集成材に加工できるようです。</p> <p>⑤ 屋根の全面に太陽光パネルを設置し、外壁面等にヘルプスカイト太陽電池を設置できるようにしておくのが良いと思います。</p> <p>⑥ 町の財政を考えたとき、文化ホールの併設は時期尚早なのと、本体全体の建築単価を上昇させる危険性があるのでは。</p> <p>⑦ 聞くところによると、コンビニを入れる構想もあるようですが、かえって民業の圧迫を招くのではと思います。</p> <p>⑧ 北海道医療大学の転出だけではなく、農家の減少も予想されます。出来だけ、建設費を節減する必要があると思います。Eci.pfi.ppp等財政負担の少ない方法を採用すべきだったと思います。</p> <p>⑨ 役場の機能は建物ではなく、そこで働く職員の方々の研修等によるマンパワーが重要と考えます</p>	<p>・令和6年度に現庁舎の耐震化調査を実施した結果、改修工事費が約38億円と多額になるうえ、その後の耐用年数も短いことから、改修ではなく建て替えという結論に至っています。（再掲）</p> <p>・新庁舎の平屋での建設については、意見者29の回答のとおりです。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・再生可能エネルギー設備の導入については、意見者20の回答のとおりです。</p> <p>・複合化機能の整備については、意見者19の回答のとおりです。</p> <p>・テナントの複合化については現時点で未定です。</p> <p>・本町の現状を踏まえ、建設手法として工期の短縮や費用負担の平準化が可能なPPP（リース方式）を採用すべきと判断し、基本構想（案）に記載しています。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
36	<p>1. 新庁舎の建設手法について 設計・施工について従来方式+設計・施工においてプロポーザルによる提案を求める必要があります。また、こうした大規模な設計・施工に庁内の事業者が参加できる検討が必要です。わかりやすく言えば、当別町民の税金が庁内に還流して町の景気浮揚に貢献できるのかということです。こうした視点で、入札方法を考えていただきたいものです。</p> <p>2. 新庁舎は現在の役場敷地が望ましい。 令和7年12月に開催された新庁舎の説明会で、用地購入費で第一候補地に旧公民館+民地購入が示されました。どちらにしても、現庁舎及び公民館の解体が必要であり、数年後には白樺コミセンも対象となるでしょう。これ以上の、公共建造物解体の先送りを止めるためにも、新庁舎建設の候補地は現在の庁舎を解体して、現在の位置に建造した方が効率的ではないでしょうか。</p> <p>3. 既存地下工作物の取り扱いに関するガイドライン 上記のガイドラインは2020年2月に一般社団法人日本建設業連合会が作成したものです。当別町では地下室がないので、対象は「既存杭」です。しかし、杭を抜くことは周辺地盤を改変し、現地盤と同等の性状を保つことは極めて困難となります。そのため、既存地下工作物（杭）を存置し、周辺環境にねじれなどの悪影響を与えないために、有用物として適切に管理するとされています。</p> <p>4. 新庁舎建設においてリース方式は有効なのか？ 現在、当別町にある公共施設で近いうちに取り壊す必要があるものは、 ①公民館 ②小学校 ③役場庁舎+付属施設 ④遠くない時期に白樺コミセン このように老朽化した施設がたくさんあります。これらの施設を、取り壊す計画が求められており、リース料を支払う余裕があるのか説明が必要です。</p> <p>5. コンクリート建造物の限界 長い間、コンクリートが構造物を建造する最良の材料と言われてきましたが、現在、河川での砂・砂利採取は禁止されています。コンクリートの重要な資材である砂・砂利は、河川敷に隣接した民地で採取されており、場所によっては堤防の破壊を招く行為も行われています。こうした状況の中で、現在、ヨーロッパを中心に木材（CLT）が見直されています。地球温暖化による気温変動は、地球に生息する生物へ大きな影響を与えています。植物・樹木は、CO2を吸収成長しています。豊かな緑あふれる当別町は、地球温暖化を少しでも遅らせる可能性を保有しており、町が目指す使命の一端といっても過言ではありません。農業林業を基盤にした、当別町の発展を目指したいものです。</p>	<p>・建設手法については、PPP（リース方式）を検討しており、地元企業が参入可能な発注形式を検討しています。</p> <p>・検討委員会での協議において、現庁舎用地での建設はJR線路に近接した工事となるため、十分な敷地面積の確保が難しく、さらに事業費の増加が見込まれるため、建設候補地が除外しています。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・解体が必要な公共施設については、新たな公共施設の建築に伴い、併せて解体を実施することで、一定のコスト削減が期待できます。 ・町の財政状況を踏まえると、PPP（リース方式）は初期の財源確保が不要である点や後年次への費用負担を平準化できる点をメリットとして捉えています。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
37	<p>ご苦労様です。 12月16日（ふれあい倉庫）18：30住民説明会新庁舎建設検討委員会答申内容が知りたい。委員会より直接聞きたい。問題点が知りたい。</p>	<p>・当別町HPに住民説明会での意見とそれに対する回答を掲載します。 ・また、新庁舎建設検討委員会の提言についてもHPで掲載しています。</p>
38	<p>毎年文化祭に参加していますが、白樺コミセンで舞台発表の時に大雨で声が聞こえませんでした。あと会場準備が大変です。これからの事を考えたら若い方々にも利用しやすい文化ホールを作ってください。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
39	<p>今回の庁舎建設計画（案）を見ました。人口減少の中ですが毎年の文化祭を見ている。高齢者の方が多く会場づくりを一生懸命やっていますが、大変そうです。この人たちあと何年来れるかなと思います。お金はかかりますが、地域の活性化には文化交流が大切です。若い方から高齢者の方まで誰もが楽しく参加できるホールをぜひ作っていただきたいです。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
40	<p>毎年の文化祭会場づくりが大変でもっと楽にできるようなホールを作ってください。文化が衰退すると地域も衰退します。これから先を考えると白樺コミセンも古くなっています。40年先を見据えて多目的な文化ホールを作ってほしい。よろしくお願いします。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>



当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
	<p>基本構想（案）40ページ 複合施設（文化ホール・テナント等）も賛成 ・文化ホール 固定席200～300席くらいの質素で音響機能が良好な小規模ホールを希望します。文化芸能をたしなむ方が町民の中に多くいらっしゃるので、文化祭やコンサートもしくは発表会などもより環境の良い施設で行うことができ、道内のアーティスト等も招くことで町民の知質の向上つながると思います。</p> <p>基本構想（案）41ページ ・テナント等 カフェやサロンがほしい。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
47	<p>基本構想（案）10ページ 1-4(1) 耐震性・安全性・防災の確保 新庁舎建設に賛成です。 （理由） 近年全国で地震が頻発しています。最近では12/8の青森県東方沖の地震があり、当別町も震度4でした。このようにいつどこで地震が起きてもおかしくない近況の中で町職員はいつ地震で崩れてもおかしくない庁舎で働いています。また、町民はいつ崩れてもおかしくない庁舎に手続きなどで来庁し災害に巻き込まれるかもしれません。耐震基準を満たしていないと判明し建て直しが必要と認識してから10年以上経っているのですね。倒壊し多くの方が死傷すれば、それはもはや人災に等しいと言わざるを得ません。早急な新庁舎建設をお願いします。</p> <p>基本構想（案）31ページ 本構想のまとめ・新庁舎の建設候補地について 旧公民館及びその周辺地に建設賛成です。 （理由） 当別町では5箇所の建設候補地から、それぞれ吟味し 1. 旧公民館及びその周辺地（第一候補地） 2. 旧当別小学校用地（第二候補地）としてあげています この二か所から言うと旧公民館及びその周辺地に賛成です。 大きな地震が発生したと仮定した場合旧当別小学校用地では多くの町民が住んでいる地域と川で分断されています。川に架かる橋が崩壊した場合、多くの役場職員は役場庁舎に駆けつけることができない状況になります。防災対策本部も立ち上げが難しくなります。小さな川なので仮設の橋をすぐにかければいいと思いますが、それを判断する防災対策本部に人が集まらないことが想定されます。被災した人たちの多くが役場庁舎までたどり着けません。受け入れが難しくなります。旧公民館及びその周辺地では周辺に多くの方が住んでいて川で分断されていない人が旧当別小学校用地側に比べて多いと思われます。なので旧公民館及びその周辺地の建設に賛成します。</p>	<p>・貴重なご意見として承ります。</p> <p>・貴重なご意見として承ります。</p>
48	<p>カラオケサークルに入っています。 毎年の文化祭の会場が大変です。高齢者が多く人が足りていません。（会場設営） もっと若い方も参加しやすい施設を作ってください。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
49	<p>町の広報を見て新庁舎計画の中に文化ホール計画があることをしりました、他の町へ行くと文化センターがあるのがうらやましいです。今のままだと文化祭の参加者が減ってしまいます。とにかく会場づくりが大変です。新しい文化ホールがあれば、文化祭だけでなく近隣からアーティストを読んだりできるので、また若い方のサークル発表、ピアノ発表等にも活用できるので作ってほしいです。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>

当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント意見内容とその回答について

別紙2

意見者	意見	回答
50	<p>基本構想（案）40.41ページ 町の広報を見て庁舎建設計画案を見てその中に文化ホールの計画があることを知りました。 私は文化祭に毎年参加していますが、一番大変なのは会場づくりの手伝いです。高齢の方が多いのでいつまでできるかわかりません。どうか楽にできる施設を作ってほしいです。また、一つの会場で展示と舞台発表をできるようにしてほしいです。 （理由） 会場づくりにたくさんの人が必要ですが、出てくる方が毎年減ってきています。会場内に備品がそろっていると大変助かりますのでぜひお願いします。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
51	<p>当別にたくさん芸術家があります。その人たちとのつながりを深めるため、また、町民の個々芸術のためや、200人規模の文化ホールがぜひほしい。何にでも使えるホールを！</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
52	<p>地元で文化ホールがあると文化に触れる機会が増えると思う。 発表する人も鑑賞する人も他町村を含めて豊かに交流できる。 当別にあった規模で、文化活動ができる者をぜひ建設してほしい。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
53	<p>札幌でのコンサートに年に10回以上は通っておりました。 この先どれだけ行けるか。 当別にホールができると、年を重ねてもよい音楽を地元で聞けます。 いろいろな発表もあると思います。若い人にも触れる機会が多くなると思います。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
54	<p>イベント、コンサートなどホールがないために、いろいろと苦労されてきたかと思います。 今年度新庁舎建設の案が出ているとのことなので、新庁舎の中に文化ホールと一緒に建てていただけたら、とてもうれしいです。 利用者・管理にしても能率の良い仕事ができるかと思っています。 そして、これからの若者たちにどんどん利用して楽しんでいただきたいと思います。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>
55	<p>ここ数年、当別でも良い演奏会で音楽など聴く機会があります。 当別に文化ホールがあれば、環境で優しさ、温かさ、大きさを感じてその余韻に浸れる時間がさらに深まるものと切に願っています。  文化祭、芸能発表など、老若男女問わずさらに活動的になると思う。  また、近隣市町村からも誘うことができると思い、文化ホール建設を願います。</p>	<p>・意見者1の回答のとおりです。</p>